



富山県

No.57 2010年10月

# 中央植物園だより



## トキワハゼ

ゴマノハグサ科の一年草で、路傍や畑のやや湿った場所でみることができます。初夏に一斉に開花する様子は、見事で路傍雑草として刈り取られるのはもったいないように思えます。

「変わらぬ心」 撮影 / 藤田與四夫さん (第13回私の植物写真展応募作品)

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

# 10月～12月のサンライトホール展示

## 特別展

### 「きのこ・キノコ・茸」

9月22日(水)から10月31日(日)

#### 関連行事

10月17日(日) 13:00～16:00

「きのこ狩りと観察会」 場所: 県民公園頼成の森

10月24日(日) 13:00～16:00

観察会「植物園できのこを探す」

詳しくは最後のページをご覧ください。



きのこの不思議さ・美しさ、そして面白さを感じていただける展示です。

特に期間前半には『光るきのこ』を実物とパネルで紹介します(写真)。

また10月9日～11日には、生のきのこを展示し、そのほかの期間はきのこの写真等を展示します。



「光るきのこ」シノトモシビタケ(谷口雅仁氏撮影)

## 「佐藤達夫植物画展」

11月3日(水・祝)から11月17日(水)

佐藤達夫氏(1904～1974)は内閣法制局長官、人事院総裁を務め、日本国憲法の制定にも参画された法制の専門家ですが、余暇として植物画制作に親しみ、二口善雄・太田洋愛画伯らの日本ボタニカルアート協会設立にも尽力されました。日本エッセイストクラブ賞を受賞された『植物誌』(1966年雪華社)の原画をはじめ、約50点の作品を展示します。



ツリフネソウ(1968年)

#### 関連行事

講演会「植物画の歴史」

—自然科学から花開いた高貴な芸術—

講師 大熊敏之氏(富山大学芸術文化学部)

11月3日(水・祝) 13:30～15:30

詳しくは最後のページをご覧ください

# 第4回秋のラン展

11月19日(金)~21日(日)

富山県蘭協会と共同で開催します。この時期に見頃を迎えるカンランをはじめ、300点あまりの洋ランや東洋ランを展示します。カンランは香りがあることでも有名です。この機会に是非ランの香りをお楽しみください。



## 関連行事

★講習会「ランの栽培・管理」

①11月20日(土) 13:30-15:00

②11月21日(日) 13:30-15:00

場所/ドリアスホール

講師/富山県ラン協会会員

# 「クリスマスの植物」

11月26日(金)~12月27日(月)



高さ5mのドイツウチ

クリスマスツリーのほか、ポインセチアなどクリスマスイメージする植物やクリスマスに因んだ植物を展示します。

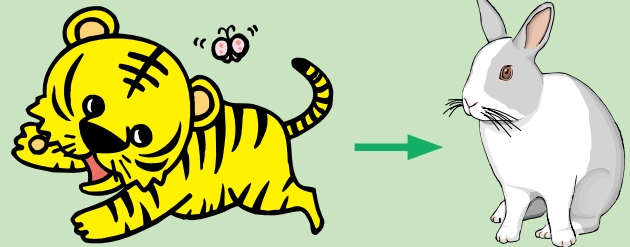


いろいろなポインセチア

# 「干支に因んだ植物展」

12月17日(金)~1月26日(水)

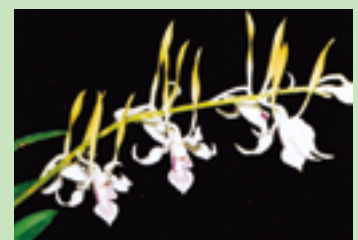
今年の干支「寅」と来年の干支「卯」年に因んだ名前の植物やその他の干支に因んだ植物を展示します。



アツバチトセラン



カラコエの仲間「黒兔耳」



ラビット・イヤール・オーキッド



## 植物園 トピックス

### ■「オオオニバスに乗ってみよう」 今年も大好評でした



今年で3年目を迎えた「オオオニバスに乗ってみよう」が夏休み終盤の8月21日(土)・22日(日)に開催されました。毎年好評なので、できるだけ多くの方に乗っていただけるように今年は先着順で整理券を配布し、2日間で予定していた400人を大幅に上回る子供たちが参加しました。

3年前に兼本主任がオオオニバ

スの発芽、育成に成功して以来最大の300株を北池に展示しました。これだけの数のオオオニバスを展示している植物園は国内ではほかにないと思われま



日に開催された夜間開園の時には、開花したオオオニバスの花の香りが、温室周辺に漂っていました。

### ■世界最大のトウトツバキを調査

世界最大のトウトツバキを調査中国雲南省昆明植物研究所との共同研究で、長谷川副主幹研究員と兼

本主任が8月30日～9月13日に今年度の現地調査を行いました。2年前に当時世界最大の野生のトウトツバキを発見した場所(永平国家自然保護区)の近くで、樹高25mの個体が発見され、調査しました。2月に開催される研究発表展で詳しく紹介する予定です。



## 研究紹介◎『中国雲南省トウトツバキ生育地の植生の特徴と自生地内保全』 主任 兼本 正

ツバキ科ツバキ属はアジア東南部に約120種が知られ、中国南部に97種が分布し76種は中国固有となっています。その中でもトウトツバキは貴州省西部、四川省西南部、雲南省の照葉樹林内に分布する常緑樹で雲南省では古くから野生トウトツバキからの選抜と交配を進め、これまでに120以上の品種が作出されてきています。品種の特徴として花が大きく(直径20cm)、形状が多様(一重、半八重、八重咲)、艶やかで変異に富む色彩を持ち、多数の花を長い期間開花させることから、雲南省ではトウトツバキを名花の一つとして取り上げ、経済価値にも注目されています。

2001年から始まった富山県中央植物園と中国科学院昆明植物研究所との共同研究では、雲南省の貴重植物についての保全生物学的な研究を行っており、2007年からはトウトツバキを研究対象に調査を行ってきました。2008年度の調査では雲南省北西部に位置する楚雄市中山鎮黒牛山において、トウトツバキ野生種自生地の植生調査を実施しました。

トウトツバキは標高1900～2500mに分布するブナ科シイ属やマテバシイ属の樹木が優占する亜熱帯半潤常緑広葉樹林内に見られ、特に山地の中腹あたりの湿った肥沃な谷部に多く生育しています。これまでの調査より森林が発達し、樹冠が鬱閉した林内ではトウトツバキの稚樹は殆ど発見されず、一方定期的に伐採され、林冠に隙間のある明るい林内でトウトツバキの稚樹

が多く生育していました。トウトツバキは古くから薪炭材や建築材として、伐採など人為的攪乱を強く継続的に受け形成された里山的自然環境を好んで生育する

と考えられます。自生地内におけるトウトツバキの保全については里山的自然環境を維持する必要がありますと思われる。



写真/亜熱帯半潤常緑広葉樹林、手前に開花しているトウトツバキがある。

# 10月～12月のイベント

## 第18回TOYAMA植物フォーラム COP10開催記念シンポジウム

### 「富山の生き物たちは今… 郷土の生物多様性を考える」

10月3日(日) 13:00～16:30

場所:管理研修棟2階研修室

定員:100名(事前に電話申込み)

県内の植物だけでなく動物・昆虫・鳥類・微生物などの専門家によって、県内の生物多様性の現状が紹介されます。



エッチュウミセバヤ



オニバス

## 「花とみどり・ふれあいフェア」

12月3日(金)～12日(日) 9:00～16:30

これまでの「花と緑のフェスティバル」に代わって今年から開催されます。期間中はコンテナガーデンコンテストの作品展示などのほか、多くのイベントが予定されています。



## 「クリスマスフェスタ」

期間中サンライトホールでミニコンサート、ドリアスホールでクリスマス・リース作りなどを予定しています。

12月11日(土)・12日(日) 9:00～18:00  
(2日間だけ開園時間を延長します)

### ミニコンサート(サンライトホール)



サンライトホール前のイルミネーション



昨年の「鷺坂小学校」のミニコンサート



クリスマスリースづくり



昨年の「富山古楽協会」のミニコンサート



# 催し物のご案内

## ■企画展示 サンライトホール

### 特別展「きのこ・キノコ・茸」

9月22日(水)～10月31日(日)  
写真や実物のキノコを展示・紹介します。  
入園料が必要です。

### 「佐藤達夫植物画展」

11月3日(水・祝)～11月17日(水)  
故佐藤達夫氏の植物画作品を展示します。  
入園料が必要です。

### 第4回秋のラン展

11月19日(金)～11月21日(日)  
カンランをはじめこの季節に開花する  
ランを展示します。「ランの栽培講習会」  
もあります(講習会の欄参照)。  
入園料が必要です。

### 「クリスマスの植物」

11月26日(金)～12月27日(月)  
ポインセチアやシクラメンの仲間など  
の植物を展示します。入園料が必要です。

### 「花とみどり・ふれあいフェア」

12月3日(金)～12月12日(日)  
会場/サンライトホールほか  
コンテナガーデンコンテスト作品の展  
示や花苗の販売。入園料が必要です。

### 「干支にちなんだ植物展」

12月17日(金)～1月26日(水)  
干支に因んで「寅」と「卯」の名前のつい  
た植物を展示します。入園料が必要です。

## ■講座・講習会

★第18回TOYAMA植物フォーラム  
COP10開催記念シンポジウム  
「富山の生き物たちは今・・・  
郷土の生物多様性を考える」

#### ◆要申込

10月3日(日) 13:00～16:30  
基調講演 布村 昇(富山県生物学会会長)  
パネリスト 太田道人(富山市科学博物館)、  
佐藤 卓(富山県生物学会)、橋屋 誠(富  
山県中央植物園)、平内好子(富山県生物  
学会)、根来 尚(富山市科学博物館)、南  
部久男(富山市科学博物館)、高畑 晃(日  
本野鳥の会富山)、横畑泰志(富山大学)  
場所/研修室  
参加費/無料  
定員/100名

## きのこ狩りと観察会

10月17日(日) 13:00～16:00  
場所/頼成の森  
参加費/無料  
申込みは頼成の森 0763-37-1540まで。

### ★観察会「植物園できのこを探す」

10月24日(日) 13:00～16:00  
場所/植物園内  
参加費/入園料が必要です。

### ★県民植物学講座「竹と笹」

◎要申込  
⑤10月31日(日) 13:30～15:30  
「タケ林の整備と管理」  
講師/内村悦三(富山県中央植物園園長)  
場所/研修室  
参加費/無料

### ★講演会「植物画の歴史—自然科学から花開いた高貴な芸術」

11月3日(水・祝) 13:30～15:30  
講師/大熊敏之(富山大学芸術文化学部)  
場所/研修室  
定員/50名  
参加費/無料、当日受付

### 植物画講習会II 「講習と作品講評」

◆要申込  
11月6日(土)・7日(日) 10:00～16:00  
場所/ドリアスホール  
講師/豊田路子・岡田宗男(植物画家)  
定員/50名  
参加費/入園料が必要

\*二日間連続の講習会です。友の会の植  
物画講習会と合同で開催します。植物画  
経験者向けの講習です。

### ★栽培講習会「ランの植え替えと管理」

◆要申込  
①11月20日(土) 13:30～15:00  
②11月21日(日) 13:30～15:00  
場所/ドリアスホール  
講師/富山県蘭協会会員  
当日受付、入園料が必要です。

## ■特別開園

### クリスマスフェスタ

12月11日(土)・12日(日)  
開園時間を18時まで延長します。  
入園は17時30分までです。  
入園料/400円(高校生以下無料)

### ◆クリスマスミニコンサート

クリスマスフェスタ期間の12月11日(土)、  
12日(日)の夕方1時間程度を予定して  
います。入園料が必要です。  
場所/サンライトホール

## ■月例行事

### 緑のコンサート

第1土曜日 11:00～12:00  
ただし12月4日は 10:40～11:20  
開催場所/植物園内  
参加費/入園料が必要  
滝沢卓氏のシンセサイザー演奏です。

### 日曜植物案内

10月10日(日)、11月14日(日)、12月  
4日(日) 13:30～14:30  
集合場所/サンライトホール  
参加費/入園料が必要  
植物園ボランティアが見頃の植物など  
園内を案内します。

### 植物園オリエンテーリング

10月17日(日) 10:00～11:00受付  
植物に関する問題を解きながら楽しく  
園内をまわる行事です。  
集合場所/サンライトホール  
参加費/入園料が必要

#### ◎要申込

事前の申込が必要です。前日までに「電  
話」でお申込みください。

#### ◆要申込

事前の申込が必要です。申込は1ヶ  
月前から往復はがき・FAX・メール  
(botanic@bgtym.org) で受付けます。

★印はボランティア養成講座です

## 友の会会員募集中!

### ■特典

会員証を示しサインするだけで入園で  
きます。/会報や植物園だよりが送られ  
てきます。/多彩な友の会の行事に参加  
できます。/印刷物を割引で購入できます。

### ■会費

年額3,000円。5月以降、新規に加入さ  
れる方は初年度会費の割引を受けられ  
ます。

### ■入会方法

植物園の入園窓口で随時受け付けてい  
ます。

## 富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)  
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)  
休園日 毎週木曜日(4月中と祝日の場合は  
開園)、年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 600円  
団体料金(20名以上) 480円  
高校生以下無料  
冬季入園料(12月～2月)  
大人(一般および大学生) 400円  
団体料金(20名以上) 320円  
高校生以下無料

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファボー  
レ經由萩の島循環」または「ファボーレ經由速  
星行き(休日のみ)」に乗りし「中央植物園口」  
停留所下車、徒歩約12分/富山市中心部より  
車で約15分/北陸自動車道富山インターより  
車で約15分/JR速星駅より車で約8分

## 富山県中央植物園だより No.57

編集・発行/財団法人 花と緑の銀行  
〒939-2713 富山市婦中町上善田42 TEL 076-466-4187 <http://www.bgtym.org>  
平成22年9月20日発行 印刷/株式会社モトヨシ美術印刷